

# データde六浦西

DATA de KANAZAWA

## 目次

1. 地区の概況——1
2. 町丁別人口世帯の動向——2
3. 地域の施設等の分布状況——3
4. 年齢別人口と人口移動——4
5. 世帯の状況と居住歴——6
6. 地区の特徴と動向——7



金沢区幸せお届け大使  
ほたんちゃん

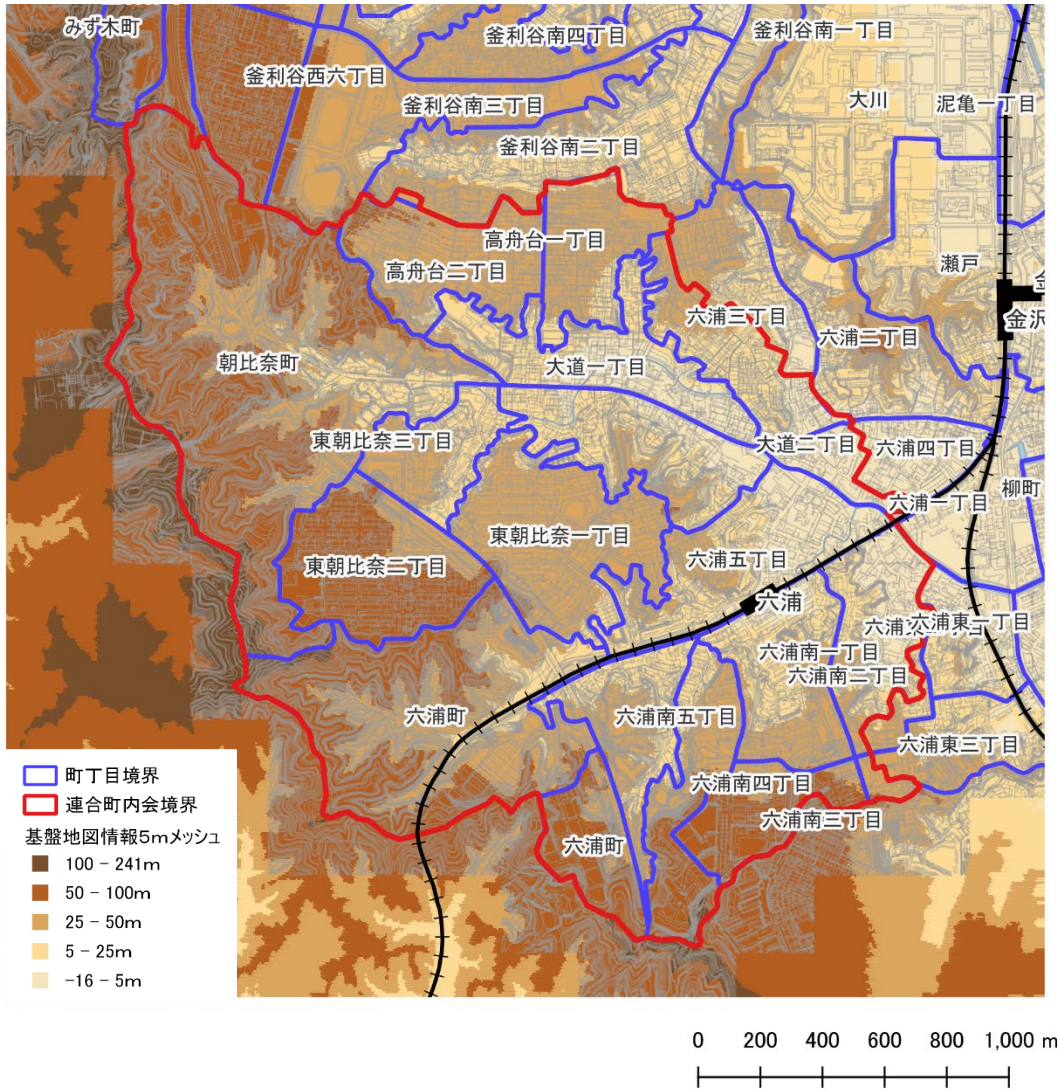
令和7年1月発行

金沢区地域振興課地域力推進担当

# 1. 地区の概況

図1 地区の位置

\*地形図は国土地理院 基盤地図情報(数値標高モデル)5mメッシュにより作成。



【横浜市地形図複製承認番号 令6建都計第9016号】

表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向

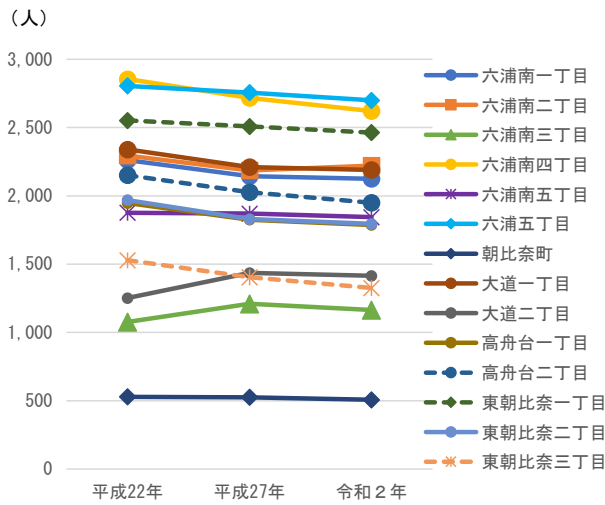
	平成22年	平成27年	令和2年	平成22～27年 増減数	平成27～ 令和2年 増減数	平成27年 比率	令和2年 比率	令和2年 金沢区比率	令和2年 横浜市比率
人口 (人)	27,436	26,647	26,105	▲ 789	▲ 542	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14歳 (人)	3,016	2,916	2,701	▲ 100	▲ 215	10.9	10.3	10.8	11.7
(内0～4歳) (人)	946	853	744	▲ 93	▲ 109	3.2	2.9	3.7	4.4
15～64歳人口 (人)	17,212	15,400	14,144	▲ 1,812	▲ 1,256	57.8	54.2	57.4	61.3
(内20～24歳) (人)	1,574	1,384	1,254	▲ 190	▲ 130	5.2	4.8	5.5	5.3
(内25～39歳) (人)	4,691	3,899	3,306	▲ 792	▲ 593	14.6	12.7	13.6	16.5
65歳以上人口 (人)	7,094	8,206	8,675	1,112	469	30.8	33.2	29.5	24.4
(内65～74歳) (人)	3,922	4,334	3,994	412	▲ 340	16.3	15.3	14.4	11.6
(内75～84歳) (人)	2,382	2,855	3,207	473	352	10.7	12.3	10.5	8.8
(内85歳以上) (人)	790	1,017	1,474	227	457	3.8	5.6	4.5	4.0
世帯数 (世帯)	11,189	11,327	11,725	138	398	-	-	-	-
平均世帯規模 (人/世帯)	2.45	2.35	2.23	-	-	-	-	-	-

\*国勢調査による(各年10月1日現在)。

\*町丁目の境界線が複数の区域にわたる場合は、町丁目の区域を単位としていずれかの区域に含まれるものとして集計しました。

## 2. 町丁別人口世帯の動向 \*「国勢調査」による(各年10月1日現在)。

図2 町丁別人口の動向



六浦西地区には、令和2年10月現在、26,105人が暮らしています。世帯数は、11,725世帯、平均世帯規模は、2.23人/世帯です。(表1参照)

地区全体の人口としては、平成22～令和2年の期間で減少が続き、世帯数は増加傾向にあります。(表1参照)

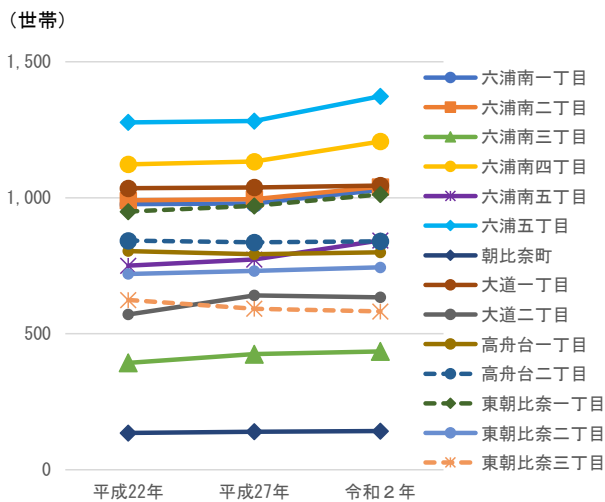
世帯規模は縮小する傾向が続いており、平成22年の2.45人/世帯から令和2年には2.23人/世帯となっています。(表1参照)

令和2年時点の65歳以上の人口比率(高齢化率)は、33.2%で金沢区全体(29.5%)を上回っています。平成27年からの5年間で高齢化率は2.4ポイント\*上昇しています。

0～14歳の人口(年少人口)、15～64歳の人口(生産年齢人口)は平成22～令和2年で減少が続いています。65歳以上の高齢人口は平成22～令和2年で増加が続いています。(表1参照)

\*金沢区の高齢化の上昇は2.8ポイント、横浜市の高齢化の上昇は1.1ポイントとなっています。

図3 町丁別世帯数の動向

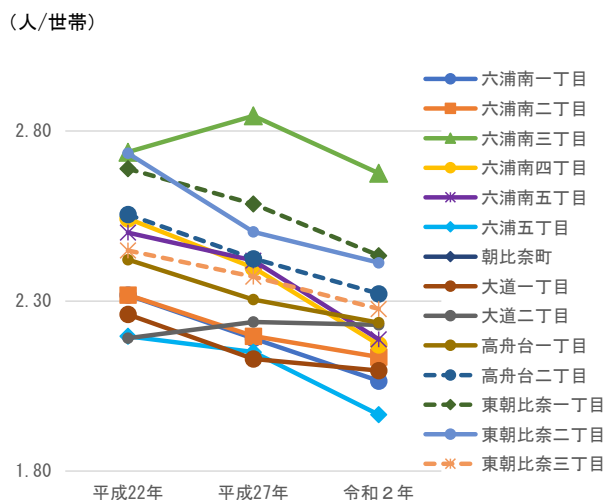


六浦西地区には、14町丁が含まれています。

大道二丁目と六浦南三丁目は平成22～27年に人口が増加していますが、他の町丁は微減傾向となっています。世帯数は、東朝比奈三丁目で減少していますが、他の町丁は増加もしくは横ばいとなっています。(図2,3参照)

平均世帯規模は、六浦南三丁目と大道二丁目平成22～27年に、上昇傾向が見られますが、この他はいずれも縮小傾向が続いています。(図4参照)

図4 町丁別平均世帯規模の動向

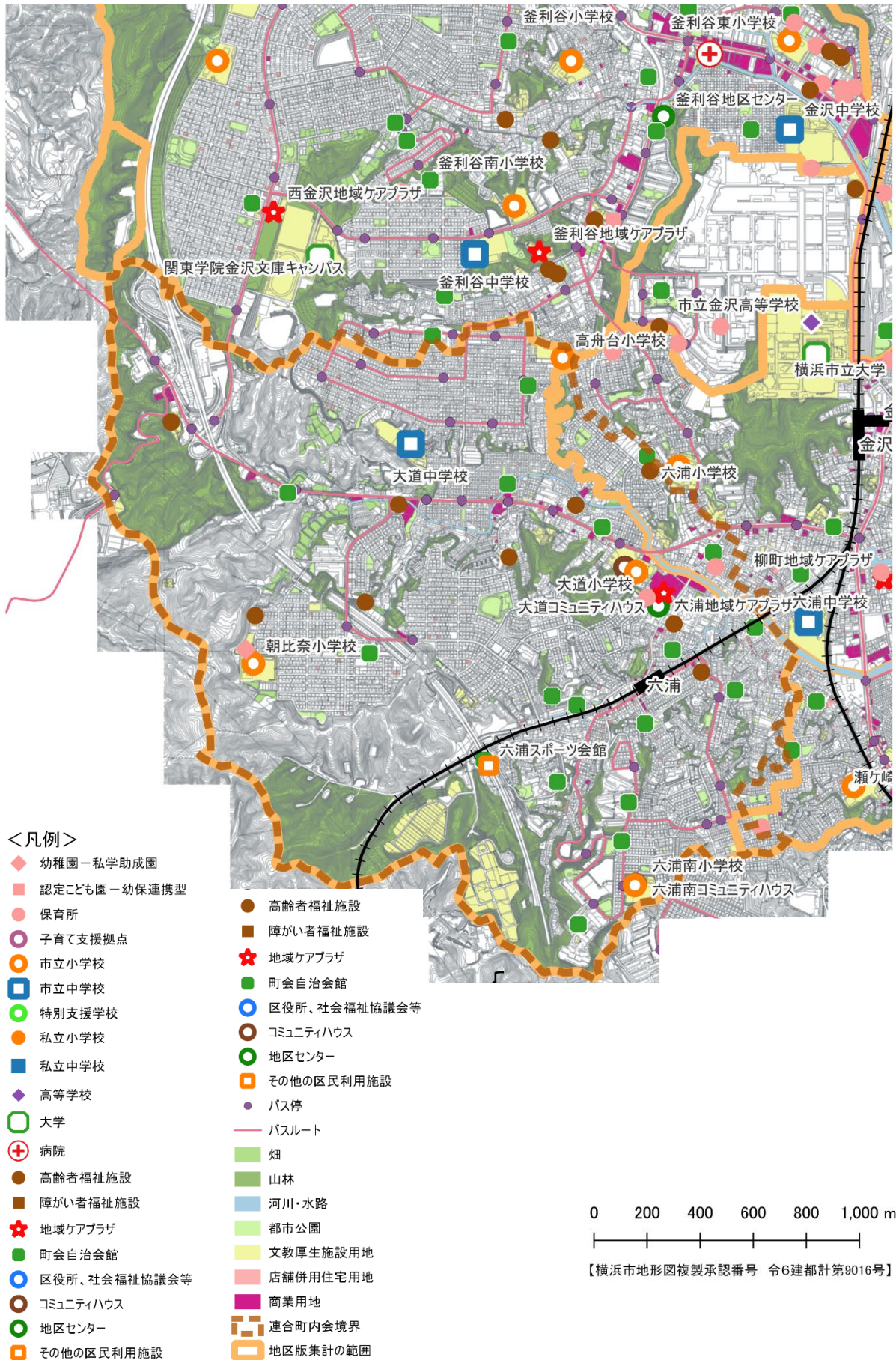




### 3. 地域の施設等の分布状況

図5 地域の施設等の分布状況

\*土地利用現況、建物用途現況は、横浜市都市計画基礎調査結果による。  
 \*施設の位置は、金沢区オープンデータ等による。



### 4. 年齢別人口と人口移動

\*年齢別人口は国勢調査による（各年10月1日現在）。  
 \*移動人口は平成30～令和5年の人口移動集計結果による。

図6 年齢5歳別の人口の変化

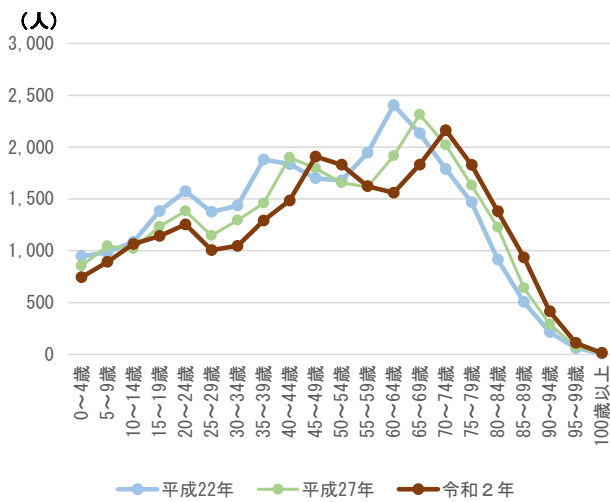
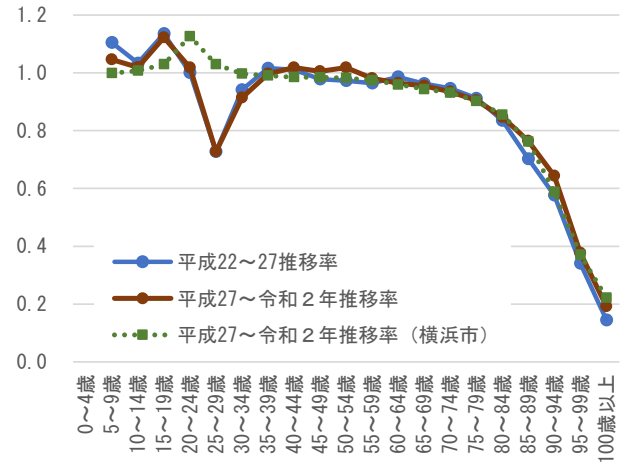
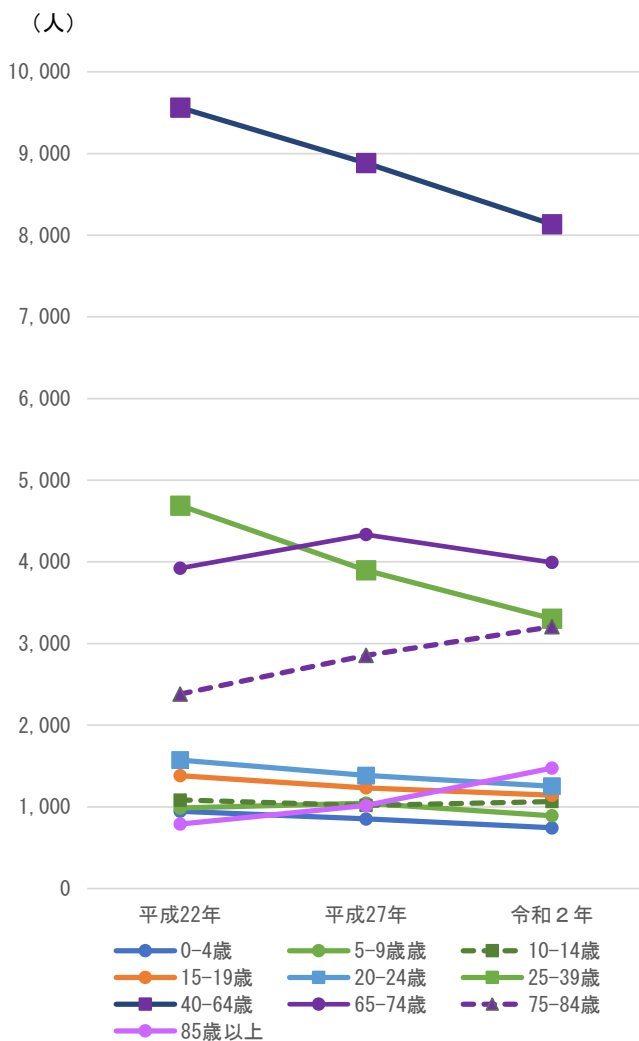


図7 年齢5歳別の人口の推移率



\*推移率: 上記の場合は、年齢5歳階級人口の各階級の人口が、死亡、転出入によって5年後に1階級高齢の人口になる割合

図8 年齢別人口の変化

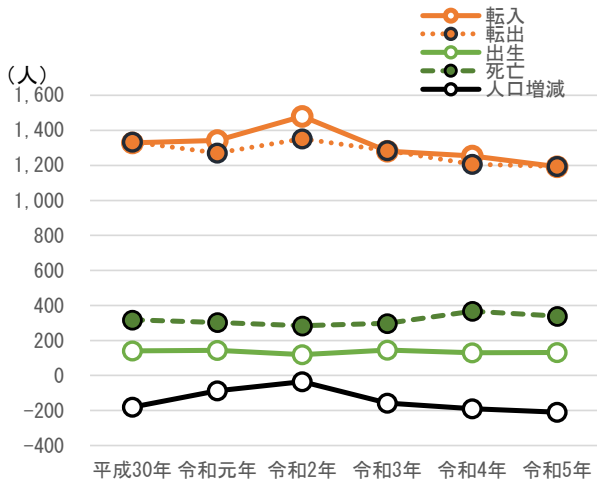


令和2年の六浦西地区の年齢別人口は、20～24歳、45～49歳、70～74歳の3つの年代が多い年齢構成になっています。特に70～74歳の年代は2,000人を超えています。20～24歳は平成22年、平成27年、令和2年の3時点で多くなっており、転入が継続していますが、徐々にその人数は減っています。(図6参照)

推移率をみると、平成22～27年、平成27～令和2年ともに5～24歳の年代で1.0を上回って転入が多くなっています。平成22～27年は35～44歳、平成27～令和2年は40～54歳の年代で1.0を上回っています。また、平成22～27年、平成27～令和2年ともに25～29歳の転出が目立って多くなっています。(図7参照)

年齢別人口の変化をみると、働き盛り世代の40～64歳と子育て世代である25～39歳は平成22～令和2年で減少が続いています。高齢者人口は、75～84歳、85歳以上の人口の増加傾向が続いています。(図8参照)

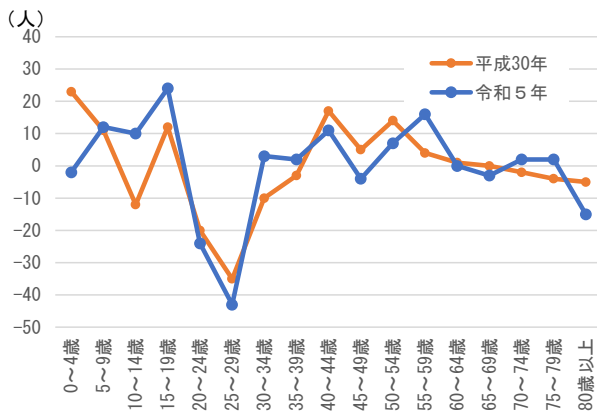
図9 人口移動の動向



平成30年から令和5年の人口移動の動向をみると、各年で1,200～1,400人前後の転出入があります。令和元年と令和2年、令和4年は転入が転出を上回りました。(図9参照)

平成30年と令和5年の年齢5歳別社会移動人口の動向をみると、平成30年は0～4歳の転入が最も多く、令和5年には15～19歳の転入が多くなっています。平成30年、令和5年ともに25～29歳の減少が目立って多くなっています。(図10参照)

図10 年齢5歳別社会移動人口の動向





### 5. 世帯の状況と居住歴

\*各年「国勢調査」結果による(各年10月1日現在)。

図 11 6歳未満の子どもがいる世帯の動向

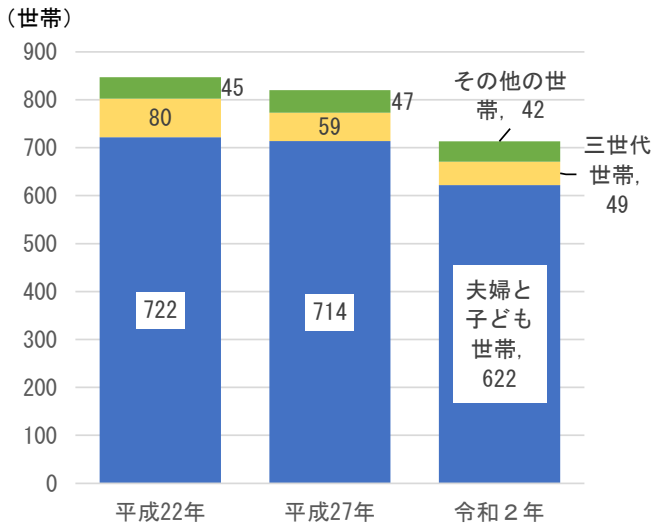


図 12 65歳以上の高齢者がいる世帯の動向

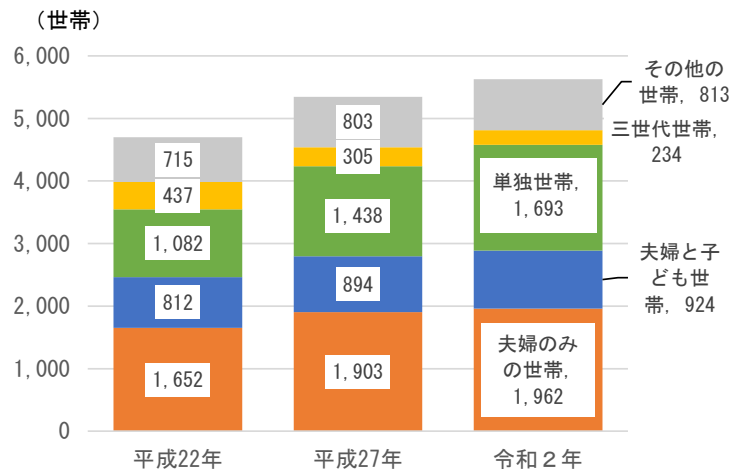


図 13 住宅の所有関係別の世帯の動向

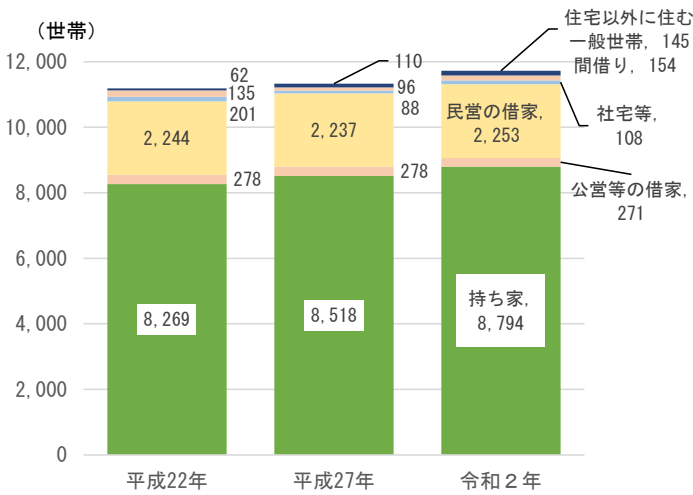


図 14 住宅の建て方別の世帯の割合 (R2)

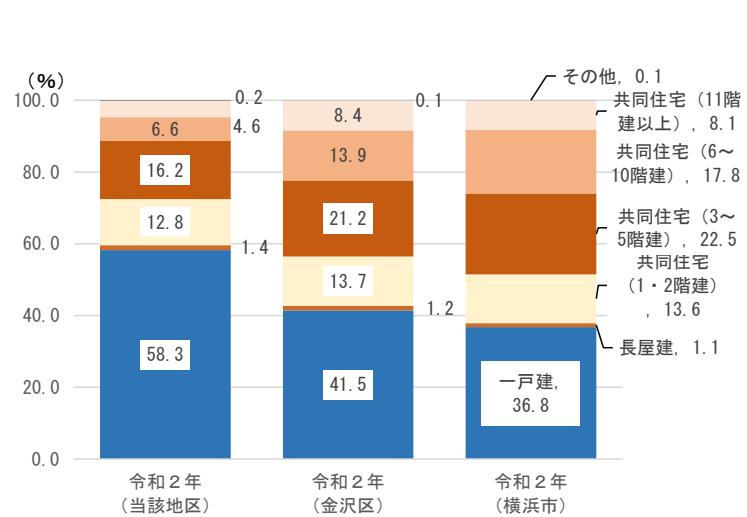


図 15 規模別世帯の動向

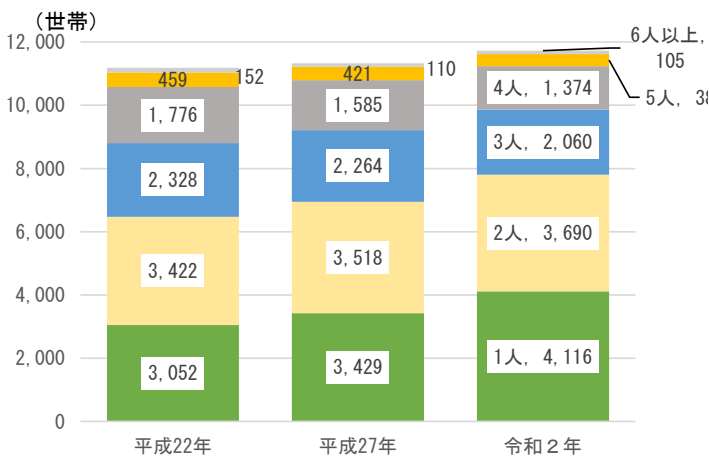
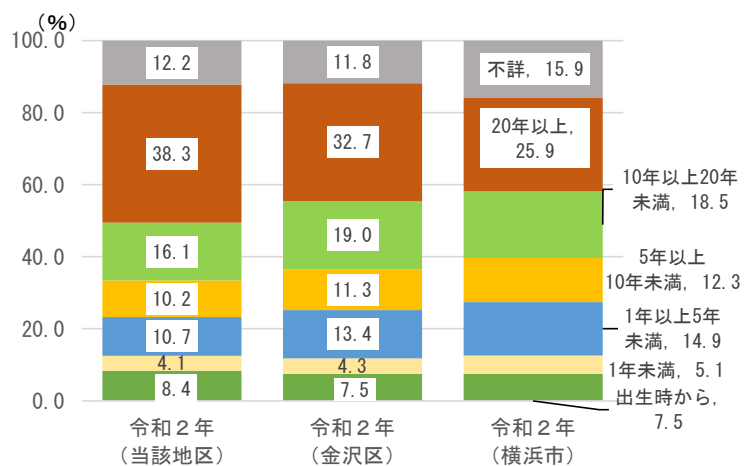


図 16 居住歴別人口の割合 (R2)



## 6. 地区の特徴と動向

六浦西地区は侍従川に面した平地と台地上に開発された住宅市街地です。地区内を東西に環状4号線が通っています。また、地区内を京急逗子線が通り六浦駅があります。

6歳未満の子どものいる世帯は、平成22～令和2年の期間で減少が続いています。平成22年の847世帯が、令和2年には713世帯となりました。令和2年の6歳未満の子どものいる世帯のうち87.2%が核家族になっています。(図11参照)

65歳以上の高齢者のいる世帯は増加傾向にあります。令和2年の65歳以上の高齢者のいる世帯5,626世帯のうち、34.9%が夫婦のみの世帯、30.1%が高齢者の単独世帯です。これら高齢者だけで暮らしている世帯は、高齢者のいる世帯全体の65.0%を占めています。(図12参照)

住宅の所有関係別では、令和2年は持ち家に住んでいる世帯が8,794世帯で最も多く、次いで多い民営借家に住む世帯は2,253世帯あります。持ち家に住む世帯は増加傾向にあります。(図13参照)

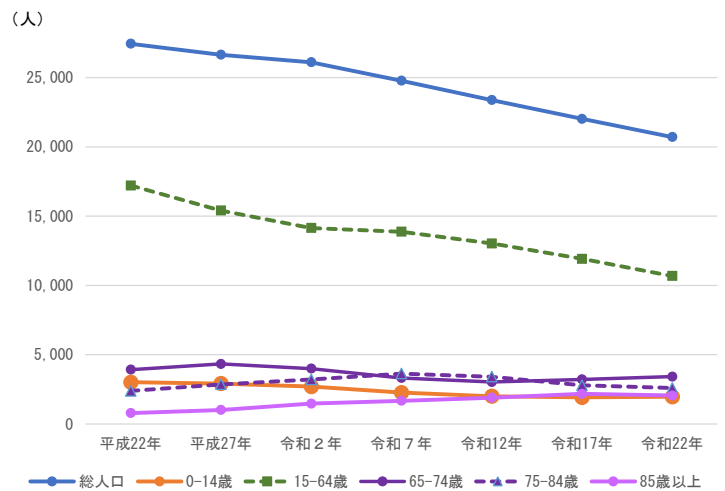
令和2年の住宅の建て方別の世帯の割合をみると、一戸建の住宅が58.3%と最も多く、この割合は金沢区全体(41.5%)と比べると16.8ポイント上回っており、一戸建の住宅が中心の地区であることが分かります。(図14参照)

六浦西地区の世帯人員の推移をみると、「1人」は平成22年の3,052世帯から令和2年の4,116世帯に増加し、一人暮らし世帯が増加しています。(図15参照)

人口全体の動向と推計をみると、平成22～令和2年の実績値は減少傾向にあり、令和7年以降も減少傾向が続くものと推計されています。(図17参照)

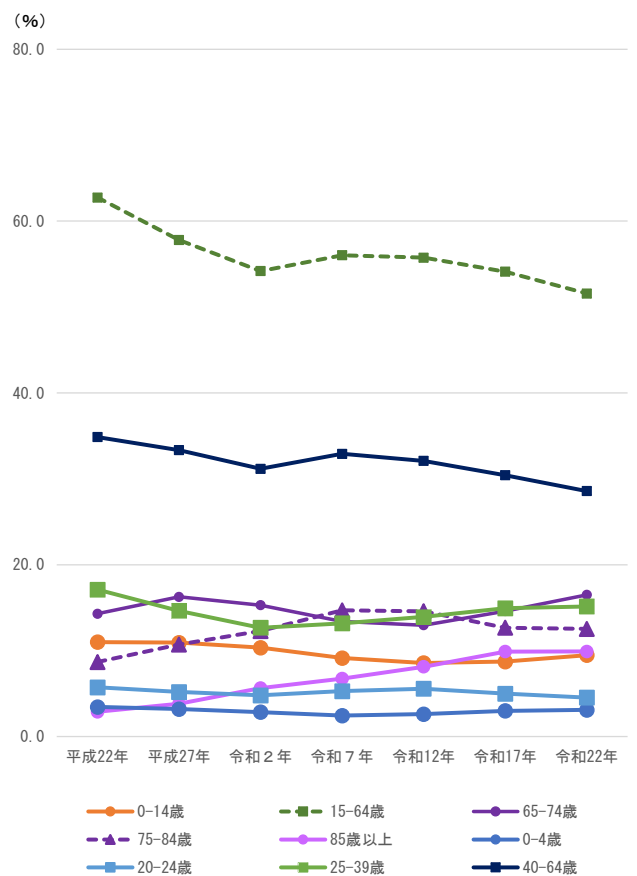
今後は85歳以上の人口比は増加し続け、生産年齢の人口比は減少するなど、人口構造に変化が見られると推計されます。(図18参照)

図17 人口の動向と推計



※平成22年～令和2年は国勢調査の実績値。令和7年以降は、国土技術政策総合研究所による推計値(国勢調査を用いたコーホート変化率法)。

図18 人口の動向と推計 年齢別比率



※平成22年～令和2年は国勢調査の実績値。令和7年以降は、国土技術政策総合研究所による推計値(国勢調査を用いたコーホート変化率法)。